

平田ロータリークラブ 週報

発行日 毎週木曜日

平成18年 7月20日

No.1572

率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド
第2690地区ガバナー 新宮 彦助

△事務局▽
島根県出雲市平田町2280-1
平田商工会議所2F TEL 0853-63-3232
FAX 0853-63-5365
A.M. 9:00 ~ P.M. 5:00 土・日曜・祝祭日休局

会長 加藤喜久 副会長 田中久雄
幹事 荒木 貫 会計 金田卓也

例会プログラム

例 会	卓 話 者	演 題
第1572回(7/20)	会員 田中浩史	アナログオーディオの魅力
第1573回(7/27)	前年度会計 加藤 昇・今年度会計 金田卓也	総会(前年度決算・今年度予算)
第1574回(8/3)	新宮彦助ガバナー ホテルほり江	公式訪問合同例会(大社RC)

出席報告

会 員 数	出 席 者 数	欠 席 者 数	出 席 率	前 回 補 正 率
49	40	9(2)	85.11	91.87

欠 席 者 園・飯塚大・西谷・園山・平野・黒田・加藤昇(石原恵・伊藤)
来 訪 者 ガバナー補佐 松井武男・グループ幹事 武田直久
M U 7/18原光・大島卓(出雲)

幹事報告

- 例会変更
 - 大社RC 8/2(水)→8/3(木) G公式訪問合同例会
8/23(水) 6:30~ 早朝例会(稲佐の浜清掃奉仕) } ビジター受付
○出雲南RC 8/4(金) 早朝例会 } 11:30~12:30 事務局
8/11(金) 夜間(G公式訪問合同例会)
○出雲中央RC 8/7(月)→8/11(金) " }
- 休 会
 - 大社RC 8/16(水) 定款により } ビジター受付 なし
 - 出雲南RC 8/18(金) " }
 - 出雲中央RC 8/14(月) " }
- るんびにい苑より「るんびにい」新聞をいただきました。
- 平田青年会議所理事長清原正幸様より、島根ブロック会員大会出席のお礼状をいただきました。
- 酒持田本店様よりお中元をいただきました。
- 7/9(日)地区ローターアクト委員長会(岡山)が開催され、田中浩史委員長、出席致しました。

スマイル

松井ガバナー補佐 } 初めてお邪魔致します。今年一年よろしくお祈り致します。
武田グループ幹事 } 加藤会長、荒木幹事様の御活躍と平田クラブの発展をお祈り致します。
加藤喜・荒木 松井ガバナー補佐・武田グループ幹事、ようこそいらっしゃいました。この一年間ご指
導よろしくお祈り致します。田中浩史会員のスピーチを楽しみにしています。
大谷・大島治・横野・遠藤 } 松井ガバナー補佐・武田グループ幹事ようこそいらっしゃいました。
土江・飯塚詔・森山・田中久 } ご活躍をお祈り致します。
田中久 若い者がスピーチの役目です。親として恥ずかしいような気がします。

8月3日例会受付当番 名原知 漢 ・ 飯塚 詔 夫 ・ 飯塚 佳 久

- ★松江南クラブ(月) 7/31
- ★出雲クラブ(火)
- ★平田RAC(第1・3水)
- ★出雲中央クラブ(月) 8/7・8/14(併)
- ★松江クラブ(水)
- ★松江東クラブ(木)
- ★松江しんじ湖(火)
- ★大社クラブ(水) 7/25・8/2・8/16(併)・8/23
- ★出雲南クラブ(金) 8/4・8/11・8/18(併)

会長挨拶

天神さんの祭りが終わりますと29日には平田まつりが始まります。我々平田RCは毎年の献血キャンペーンの他に財団資金の一部に充てるためチャリティーバザーを計画しています。詳しいことは担当委員長さんから発表されますので全会員の皆様のご協力をお願いいたします。

さて、今年度のロータリーのテーマは「率先しよう」ですが、今地域社会の街づくりにこの「率先しよう」が大きなキーワードとなっていると私は思います。昨年合併して誕生した新出雲市は広大なエリアを持ち沢山の地区があります。また財政も1年1年厳しい今、これからは元気の良い地域、熱心なコミュニティ活動の地区に優先して行政も予算をつけ様々な事業が展開されると思われれます。今月23日には初めてのことと思いますが平田まつりの七夕仮装船のため船川の一部を行政と各種団体、地域住民一体となって大規模な清掃活動が予定されています。こうした行政だけにすべて頼らず地域、住民が率先して行動を起こすことが行政を動かし船川全域のクリーン化に、またすみよい街づくりにつながるものと思います。

今年度平田地域では国富地区にコミセン（旧公民館）の移転新築、更に運動広場の新設が決定など国富地区の一人勝ちの様です。高砂会員が自治会長として「率先しよう」の精神のもとで進められた熱心な住民活動の成果と思います。高砂会員に敬意を表したいと思います。

スピーチ

アナログオーディオの魅力

会員 田中浩史

光や音はどちらも波長の異なる電磁波の延長線上にあり、写真は光を記録、レコードやCDは音を記録します。音の記録を例にすると、アナログではレコードやテープは音の振幅をそのままの状態に記録します。デジタルでは振幅を、01011100011のように、0と1の記号に置き換えて、CDやMDやメモリーカードに記録します。コンピューターの急速な発達で、ここ20年間にデジタルは家庭でも大容量かつ便利で身近なものとなって、デジタル万能の時代になりました。仮にCDプレーヤーを真空管で同じように作ると、数万本真空管での5階建てのビルディングに相当するといわれています。以前のレコードの再生は、レコード盤のクリーニング、針の交換、カートリッジの針圧の調整等々さまざまな手続きが必要でした。デジタルCDの時代になって、これらの煩わしい作業から開放され、1枚で70数分の高音質の再生が可能に、また時間とともに音質が劣化することはありません。コンパクトに取り扱いも大変便利になりました。しかしながら、デジタルは0と1すなわち、有るか無いかの世界です。CDを傷つけたり、パソコンのハードディスクを壊したりすると、膨大なデータが一瞬のうちに無くなり、復活はまず不可能です。CDそのものの寿命も未だ定かではありません。アナログは、約100年の歴史があります。理論的にデジタルに比べると極めて単純です。切れたテープは丹念に繋ぎ合わせれば元に戻ります。写真やフィルムも切ったり破れたりしても、繋ぎ合わせれば多少見苦しくても、燃えない限りは完全になくなることはありません。デジタル万能の時代で、デジタル化・デジタルアーカイブが進められ、場合によっては貴重な原本が破棄される場合もあります。

レコードはエジソンが発明して以来150年間の、膨大な量の録音が残されています。CDに取って代わるまでの、アナログレコードは、リサイクルショップなどで残念ながらもただ同然の値段で売られたりしています。特に蓄音機時代の70回転のSPレコードの中には、伝説的な演奏家、もうすでに歌われなくなったり演奏されなくなった音楽など貴重な音源に出会うことがしばしばあります。山積みになって、汚れていても、傷があっても、再生を繰り返して白くなったような盤面でも、再生不能のレコードに出会ったことはほとんどありません。理論的に単純なるが故のアナログレコードの成せる技だと思えます。

